

## スキャン初期設定方法

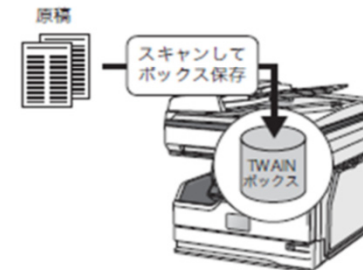
### TWAIN ボックスに蓄積する

スキャンした原稿を TWAIN ボックスに蓄積します。蓄積したファイルは、TWAIN 対応のアプリケーションソフトウェアを使ってコンピューターに読み込みます。

#### Q補足

- TWAIN ドライバーをコンピューターにインストールしてください。インストールのしかたは、『ソフトウェアインストール編』第2章の「インストールのしかた (USB 接続)」または「インストールのしかた (ネットワーク接続)」を参照してください。
- TWAIN ボックスに蓄積したファイルをコンピューターに読み込むには、TWAIN 対応のアプリケーションソフトウェアが必要です。お持ちでない場合は、PDFScanMaker をお使いいただけます。インストールのしかたは、『ソフトウェアインストール編』第2章の「インストールのしかた (USB 接続)」または「インストールのしかた (ネットワーク接続)」を参照してください。
- 機器とコンピューターを、USB 経由またはネットワーク経由で接続してください。

### 原稿を TWAIN ボックスに蓄積する



#### Q補足

- 1つのボックスに蓄積できるファイルは99ファイルまでです。
- 1つのファイルとして蓄積できる原稿のページ数は999ページまでです。

## □ Information server を装着していないとき

### ① 補足

オプションの Information server を装着しているときは、「Information server を装着しているとき」(→ 1-4 ページ) の手順にしたがって操作してください。

### 1 原稿をセットし、〈スキャナー〉を押します。

- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

### 2 [保存先] タブ、[TWAIN] と順に押します。



### 3 TWAIN ボックスを選択し、〈スタート〉を押します。

- ・TWAIN ボックスに暗証番号が設定されている場合は、次の手順に進みます。
- ・暗証番号が設定されていない場合で、原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。
- ・暗証番号が設定されていない場合で、MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[施取終了] を押します。

### 4 暗証番号を入力し、[確定] を押します。

- ・原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。
- ・MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[施取終了] を押します。

## □ Information server を装着しているとき

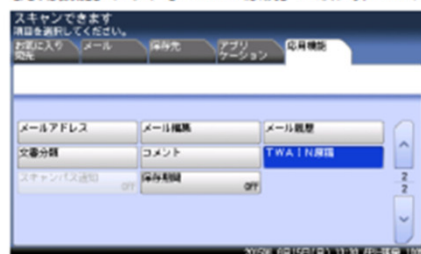
### ① 補足

オプションの Information server を装着していないときは、「Information server を装着していないとき」(→ 1-3 ページ) の手順にしたがって操作してください。

### 1 原稿をセットし、〈スキャナー〉を押します。

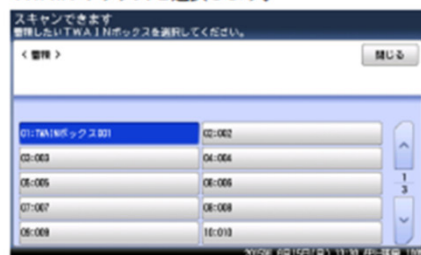
- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

### 2 [応用機能] タブ、[TWAIN 原稿] と順に押します。



### 3 [蓄積] を押します。

### 4 TWAIN ボックスを選択します。



### 5 TWAIN ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力し、[確定] を押します。

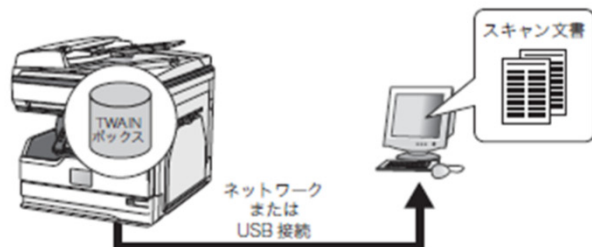
暗証番号が設定されていない場合は、そのまま次の手順に進みます。

### 6 [はい] または 〈スタート〉 を押します。

- ・原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。
- ・MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[施取終了] を押します。

## TWAIN ボックスのファイルを取り出す

TWAIN ボックスに蓄積したファイルは、TWAIN ドライバーに対応しているアプリケーションソフトウェアに読み込んで、加工したり保存したりすることができます。お使いのアプリケーションソフトウェアによって操作方法が異なります。詳しくは、お使いの TWAIN 対応ソフトウェアのヘルプまたは操作説明書を参照してください。



ここでは、PDFScanMaker を例に説明します。

### 補足

あらかじめ PDFScanMaker をコンピューターにインストールしておく必要があります。インストールのしかたについては、『ソフトウェアインストール編』第 2 章の「インストールのしかた (USB 接続)」または「インストールのしかた (ネットワーク接続)」を参照してください。

## PDFScanMaker を起動する

- 1 スタートメニューまたはスタート画面から、「PDFScanMaker」をクリックします。  
デスクトップにショートカットアイコンがある場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックします。



- 2 「機器選択」画面で、使用する機器を選択します。



- ・PDFScanMaker の初回起動時は、「機器選択」画面に機器が表示されません。[検索] をクリックすると、使用可能な機器が表示されます。
- ・ネットワーク接続の場合で、[検索] をクリックしても機器が表示されないときは、「IP アドレスまたはホスト名の入力」にチェックマークを入れ、機器の IP アドレスまたはホスト名を入力してください。
- ・[検索] をクリックしたときに、「Windows セキュリティの重要な警告」が表示された場合は、「ブロックを解除する」または「アクセスを許可する」をクリックしてください。そのあと、再度 [検索] をクリックします。

- 3 [OK] をクリックします。

[検索] をクリックして表示した機器を指定する場合は、「IP アドレスまたはホスト名の入力」のチェック マークを外してください。

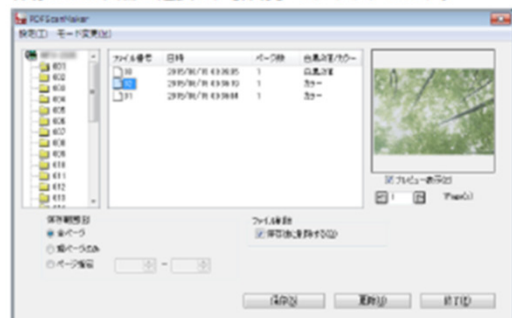
### 補足

アプリケーションソフトウェア上でスキャナーデバイスを選択する場合、スキャナーの名称は次のようになっています。

- ・ USB 接続の場合：「Muratec MFX-5180 Scan」または「Muratec V-780 Scan」
- ・ ネットワーク接続の場合：「Muratec MFX-5180 NW Scan」または「Muratec V-780 NW Scan」

## □ ファイルを保存する

- 1 PDFScanMaker を起動します。
- 2 TWAIN ボックスを選択します。  
TWAIN ボックスに暗証番号が設定されている場合は、4桁の暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。
- 3 保存したい文書を選択し、[保存] をクリックします。



画面詳細については、「PDFScanMaker モード変更メニュー」(1-10 ページ) を参照してください。

- 4 ファイルの保存先、ファイル形式、ファイル名を指定し、[保存] をクリックします。  
「ファイルの保存先」と「ファイル形式」は、設定メニューの「基本設定」(1-9 ページ) で初期値を設定できます。
- 5 「保存が完了しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
- 6 [終了] をクリックし、PDFScanMaker を終了します。

### Q 補足

- ・ファイル形式が「JPEG」の場合、ファイルに複数のページあるときは1ページごとにファイル保存されます。
- ・操作画面は、「アドバンスモード」か「シンプルモード」を選択できます。詳しくは、「PDFScanMaker モード変更メニュー」(1-10 ページ) を参照してください。

## □ PDFScanMaker 設定メニュー

「設定項目」には、「機器選択」と「基本設定」があります。



### 機器選択



設定項目	説明
IPアドレスまたはホスト名の入力	ネットワーク上の機器のIPアドレス、またはホスト名を直接入力するときに、チェックを入れます。
HTTPポート番号	機器のHTTPポート番号を変更した場合は、変更後のHTTPポート番号を入力してください。
検索ポート番号	機器の検索ポート番号を変更した場合は、変更後の検索ポート番号を入力してください。
起動時に、機器選択画面を表示しない	PDFScanMaker 起動時に機器選択画面を表示しないようにするときに、チェックを入れます。
[検索]	ネットワーク上の機器、またはUSBケーブルで接続された機器を検索するときにクリックします。
[OK]	設定を保存し、画面を閉じます。
[キャンセル]	設定を保存しないで、画面を閉じます。

## 基本設定



設定項目	説明
機器名称	接続中の機器名称または IP アドレスが表示されます。
ボックス名	「シンプルモード」で使用する場合は、TWAIN ボックスを選択します。
保存先フォルダー	ファイルの保存先を指定します。
ファイル形式	ファイル形式を選択します。
カラー	「PDF」または「JPEG」を選択できます。
白黒 2 値	「PDF」または「TIFF」を選択できます。
ファイル削除	ファイル保存後に TWAIN ボックスから文書を削除する場合は、「保存後に削除する」にチェックを入れます。
モード選択	PDFScanMaker 起動時に、「アドバンスモード」または「シンプルモード」のどちらを表示させるかを設定できます。
[OK]	設定を保存し、画面を閉じます。
[キャンセル]	設定を保存しないで、画面を閉じます。

## PDFScanMaker モード変更メニュー

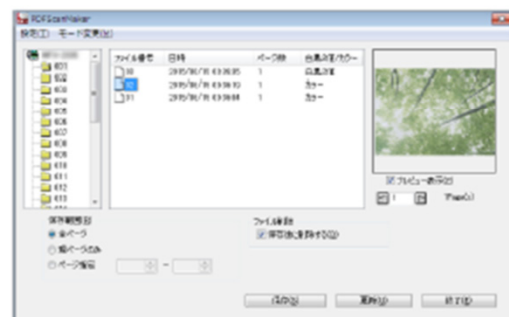
操作中に「アドバンスモード」と「シンプルモード」を切り替えることができます。



**シンプルモード** いつも同じ TWAIN ボックスに文書を読み込んで、決まった場所にファイル保存する場合は、シンプルモードを使うと操作手順を少なくできます。

**アドバンスモード** アドバンスモードを使えば、TWAIN ボックス内のファイルを指定したり、保存するページを設定したり、保存対象の詳細な設定ができます。また、任意のファイル名で保存することもできます。

## アドバンスモード



設定項目	説明
保存範囲	1 つのファイルに複数のページがある場合、保存するページを指定できます。
ファイル削除	ファイル保存後に TWAIN ボックスから文書を削除したい場合は、「保存後に削除する」にチェックを入れます。
プレビュー表示	「プレビュー表示」にチェックを入れると、選択したファイルの内容を表示できます。
[保存]	選択したファイルを保存するときにクリックします。
[更新]	PDFScanMaker の画面表示を更新します。
[終了]	PDFScanMaker を終了します。



## シンプルモード



設定項目	説明
ファイル情報	指定した TWAIN ボックス内のファイル情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>指定した TWAIN ボックス内にファイルがない場合は、ファイル情報は表示されません。</li> <li>指定した TWAIN ボックス内に複数のファイルがある場合は、最後にスキャンしたファイルの情報が表示されます。</li> <li>別の TWAIN ボックスを選択する場合は、「基本設定」(1-9 ページ) で行います。</li> </ul>
保存先情報	ファイルの保存先やファイルの形式が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設定を変更する場合は、「基本設定」(1-9 ページ) で行います。</li> </ul>
[保存]	ファイルを保存するときにクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>シンプルモードでは、TWAIN ボックス内に複数のファイルがある場合に、ファイルを選択して保存することはできません。ファイルを選択する場合は、「アドバンスモード」に切り替えてください。</li> <li>保存ファイル名は、「年月日時分秒」のフォーマットで保存されます。                      例：ファイル保存したときの日時が、2015年6月15日の9時30分57秒だった場合。                      ファイル名は、「20150615093057」となります。</li> </ul>
[終了]	PDFScanMaker を終了します。

## 蓄積されている原稿を削除する

TWAIN ボックスに蓄積された原稿を削除します。

### □ Information server を装着していないとき

#### Q 補足

オプションの Information server を装着しているときは、「Information server を装着しているとき」(→ 1-13 ページ) の手順にしたがって操作してください。

- 1 (スキャナー) を押します。
- 2 [応用機能] タブを押します。
- 3 [TWAIN 原稿削除] を押します。

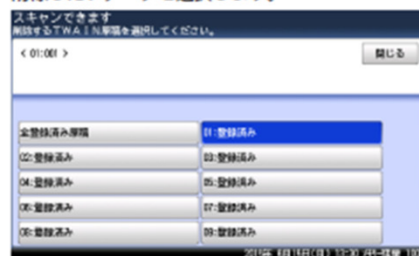


- 4 削除したい原稿が蓄積されている TWAIN ボックスを選択します。

- 5 TWAIN ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力し、[確定] を押します。

暗証番号が設定されていない場合は、そのまま次の手順に進みます。

- 6 削除したいデータを選択します。



ボックス内のデータをすべて削除する場合は、[全登録済み原稿] を押します。

- 7 [はい] を押します。

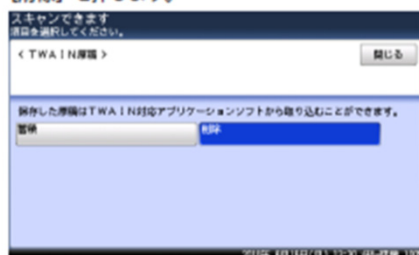
- ・ [いいえ] を押すと、削除せずに画面を閉じます。
- ・ これで手順は終了です。
- ・ 続けて操作する場合は、手順 4 から操作を繰り返します。

## □ Information server を装着しているとき

### ◇補足

オプションの Information server 装着していないときは、「Information server を装着していないとき」(→ 1-12 ページ) の手順にしたがって操作してください。

- 1 〈スキャナー〉を押します。
- 2 [応用機能] タブ、[TWAIN 原稿] と順に押します。
- 3 [削除] を押します。



- 4 削除したい原稿が蓄積されている TWAIN ボックスを選択します。
- 5 TWAIN ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力し、[確定] を押します。  
暗証番号が設定されていない場合は、そのまま次の手順に進みます。
- 6 削除したいデータを選択します。



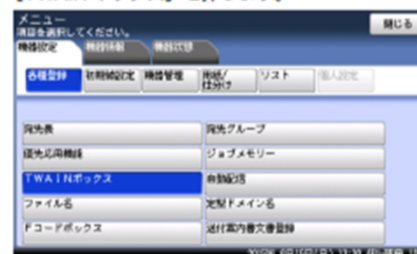
ボックス内のデータをすべて削除する場合は、[全登録済み原稿] を押します。

- 7 [はい] を押します。
  - ・ [いいえ] を押すと、削除せずに画面を閉じます。
  - ・ これで手順は終了です。
  - ・ 続けて操作する場合は、手順 4 から操作を繰り返します。

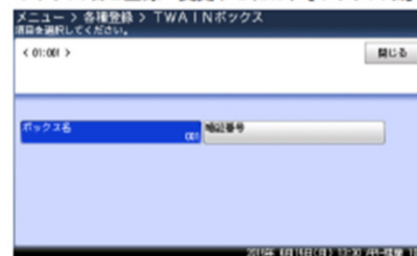
## TWAIN ボックスの設定を変更する

必要に応じて、TWAIN ボックスのボックス名と暗証番号を登録できます。

- 1 〈メニュー〉を押します。
- 2 [機器設定] タブ、[各種登録] の順に押します。
- 3 [TWAIN ボックス] を押します。



- 4 ボックス名や暗証番号を登録・変更したいボックスを選択します。
- 5 TWAIN ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力し、[確定] を押します。  
暗証番号が設定されていない場合は、そのまま次の手順に進みます。
- 6 ボックス名を登録・変更するには、[ボックス名] を押します。



ボックス名を登録・変更しない場合は、手順 8 に進みます。

- 7 ボックス名を登録・変更し、[確定] を押します。
  - ・ 全角で 8 文字 (半角で 16 文字) まで入力できます。
  - ・ 文字入力のしかたは、『機器設定・管理編』第 1 章の「文字を入力する」を参照してください。
- 8 暗証番号を登録・変更するには、[暗証番号] を押します。  
暗証番号を登録・変更しない場合は、手順 10 に進みます。

**9** 暗証番号を登録・変更し、[確定] を押します。

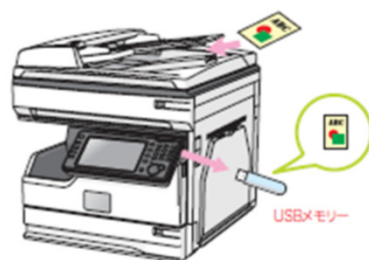
- ・4桁の数字が登録できます。
- ・暗証番号を解除する場合は、「0000」登録します。

**10** [閉じる] を押します。

- ・これで手順は終了です。
- ・続けて TWAIN ボックスの設定を変更する場合は、手順 4 から繰り返します。

## USBメモリーに保存する(スキャン to USBメモリー)

読み取った原稿を機器に接続した USBメモリーに保存します。



**Q** 補足

- ・フォーマットされた、セキュリティー機能無しの USBメモリーだけが使用できます。
- ・セキュリティー機能付の USBメモリーや、USB接続のメモリーカードリーダー、延長ケーブルや USBハブ経由での USBメモリー、USBの規格に準拠していない USBメモリーは使用できません。
- ・途中で USBメモリーの容量が不足した場合は、書き込み中のデータがすべて削除されます。あらかじめ USBメモリーの容量が十分あることを確認してください。

**1** 原稿をセットし、(スキャナー) を押します。

- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

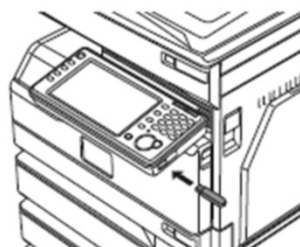
**2** [保存先] タブ、[USBメモリー] の順に押します。





### 3 USBメモリーを機器に接続します。

- ・USBメモリーが検出されます。
- ・[スキャン to USBメモリー]と[USBメモリー to プリント]の選択ボタンが表示されたときは、[スキャン to USBメモリー]を押してください。



USBメモリーが検出されなかったときは、接続し直してください。

### 4 必要に応じて、ファイル形式の変更など応用機能の設定を行います。

ファイル形式を選択しなかった場合は、出荷時設定のPDF形式で保存されます。

### 5 〈スタート〉を押します。

- ・原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。
- ・MFX-5180で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ]を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[施取終了]を押します。

### 6 画面に「スキャンできます」と表示されたら、USBメモリーを取り外してください。

## スキャンしたファイルを送信する

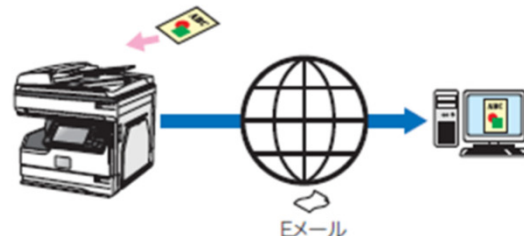
スキャンした原稿を電子メール、共有フォルダー、FTPサーバーなどに送信できます。

#### 補足

- ・オプションのInformation serverが必要です。
- ・機器とコンピューターをネットワーク経由で接続してください。

### 電子メールで送信する (スキャン to メール)

読み取った原稿のデータを電子メールに添付して送信します。



#### 補足

あらかじめ機器をネットワークに接続して、メールアドレスの割り当てを含めた電子メール送受信環境の設定が必要です。『ネットワーク機能・Information server編』第4章の「ネットワーク環境を設定する (TCP/IP 設定)」と「電子メールの環境を設定する」を参照ください。

### 1 原稿をセットし、〈スキャナー〉を押します。

- ・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

### 2 [メール] タブを押します。

### 3 宛先を選択します。



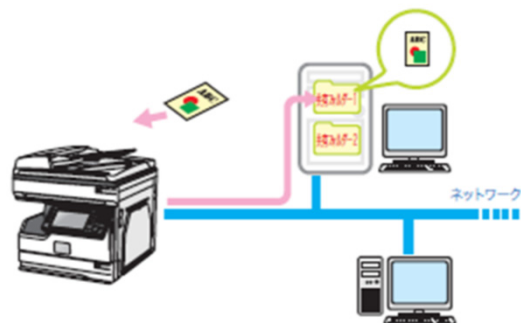
- 宛先はさまざまな方法で選択できます。詳細は、「宛先を指定する」を参照してください。(→ 6-2 ページ)
- 選択した宛先を確認するには、「宛先確認」を押します。(→ 4-11 ページ)
- メールアドレスは「To」の宛先に設定されます。「Cc」や「Bcc」に設定したい場合は、宛先確認の画面で設定を変更してください。

### 4 (スタート) を押します。

- 宛先が複数あるときや宛先確認が設定されているときは、宛先の確認画面が表示されます。(→ 4-11 ページ)
- 原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順が終了です。
- MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、「次のページ」を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、「読取終了」を押します。

## 共有フォルダーに保存する (スキャン to フォルダー)

読み取った原稿を、ネットワーク上のコンピューターにある共有フォルダーに保存できます。



#### Q 補足

- オプションの Information server が必要です。
- データを保存するフォルダーとして、ご使用のコンピューターにあらかじめ共有フォルダーを作成しておいてください。

### □ フォルダーショートカットを使って選択する

フォルダーショートカットを使うと、保存したいフォルダーを直接指定できます。フォルダーショートカットの登録については、「フォルダーショートカットを登録・変更する」(→ 8-14 ページ) を参照してください。

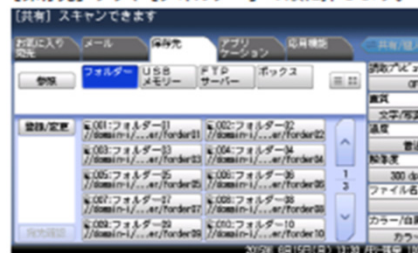
#### Q 補足

個人用のショートカットを使用する場合は、〈ログイン〉を押して機器にログインします。ログイン後に [共有 / 個人] を押して個人用のショートカット表示に切り替えてください。ログインの方法は、「機器設定・管理編」第 1 章の「ログインする / ログアウトする」を参照してください。

### 1 原稿をセットし、〈スキャナー〉を押します。

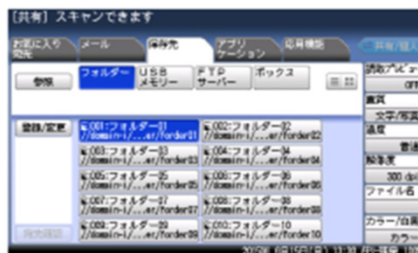
- 原稿セットのしかたは「基本編」の「原稿をセットする」を参照してください。
- 必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

### 2 [保存先] タブ、[フォルダー] の順に押します。



### 3 フォルダーショートカットを選択します。

フォルダーへのアクセスに認証が必要な場合は、ログイン画面が表示されます。[ユーザー名] を押し、フォルダーへのアクセスに必要なユーザー名を入力してから [確定] を押します。続けて [パスワード] を押し、パスワードを入力してから [確定] を押します。[確定] を押します。



・フォルダーショートカットが [お気に入り宛先] タブに登録されているときは、[お気に入り宛先] タブからも選択できます。  
・[登録/変更] を押すと、ショートカットの登録、変更または削除ができます。(→ 8-18 ページ)

### 4 指定したフォルダーの中にあるフォルダーを指定するときは、[子フォルダ] を押します。



子フォルダー (サブフォルダー) を指定しないときは、手順 6 に進みます。

### 5 子フォルダーを選択し、[確定] を押します。



・[戻る] を押すと、一つ前の画面に戻ります。  
・[取消] を押すと、画面を閉じます。

### 6 手順 3 から 5 の操作を繰り返して、すべての宛先を選択します。

選択した宛先を確認するには、[宛先確認] を押します。(→ 4-11 ページ)

### 7 (スタート) を押します。

・宛先が複数あるときや宛先確認が設定されているときは、宛先の確認画面が表示されます。(→ 4-11 ページ)  
・原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。  
・MF-X5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[読取終了] を押します。

## コ フォルダーを参照して選択する

### 1 原稿をセットし、(スキャナー) を押します。

・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。  
・必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

### 2 [保存先] タブ、[フォルダー] の順に押します。

### 3 [参照] を押します。

### 4 フォルダーを選択します。



・[ルート] を押すと、コンピューターまたはネットワークの一覧の表示に戻ります。  
・[戻る] を押すと、一つ前の画面に戻ります。  
・[取消] を押すと、画面を閉じます。  
・[登録] を押すと、選択した共有フォルダーをショートカットとして登録できます。(→ 8-18 ページ)

### 5 「ネットワークログイン」と表示されたときは、[ユーザー名] を押します。

フォルダーへのアクセスに認証が必要な場合は、「ネットワークログイン」の画面が表示されます。「ネットワークログイン」の画面が表示されなかった場合は、手順 10 に進みます。

### 6 ユーザー名を入力し、[確定] を押します。

文字入力のしかたは、『機器設定・管理編』第 1 章の「文字を入力する」を参照してください。

### 7 [パスワード] を押します。

### 8 パスワードを入力し、[確定] を押します。

文字入力のしかたは、『機器設定・管理編』第 1 章の「文字を入力する」を参照してください。

### 9 ユーザー名・パスワードを確認し、[確定] を押します。

### 10 フォルダーを選択して、[確定] を押します。

## 11 手順 3 から 10 の操作を繰り返して、すべての宛先を選択します。

選択した宛先を確認するには、[宛先確認] を押します。(→ 4-11 ページ)

## 12 (スタート) を押します。

- 宛先が複数あるときや宛先確認が設定されているときは、宛先の確認画面が表示されます。(→ 4-11 ページ)
- 原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。
- MF5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[読取終了] を押します。

## ユーザーボックスに送信する (スキャン to ボックス)

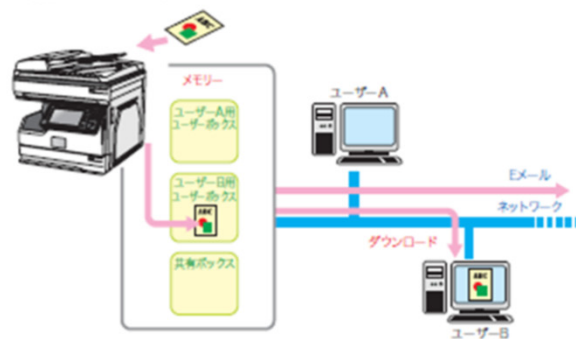
読み取った原稿を機器メモリー内の Information server の文書ボックスに保存します。保存された文書を Web ブラウザーを利用してダウンロードしたり、電子メールで送信したりできます。

読み取った原稿を保存できる文書ボックスには次の 2 種類があります。

- ユーザーボックス (👤 アイコン) : ユーザーごとの文書ボックスです。登録されたユーザーだけが利用できます。
- 共有ボックス (👥 アイコン) : ユーザー全員が利用できる文書ボックスです。

### 📌 補足

- オプションの Information server が必要です。
- ユーザーボックスを使用するには、あらかじめ使用するユーザーの登録が必要です。『ネットワーク機能・Information server 編』第 3 章の「使用するユーザーを登録する」を参照してください。



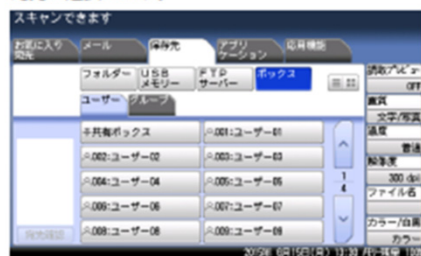
### 1 原稿をセットし、(スキャナー) を押します。

- 原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- 必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

### 2 [保存先] タブ、[ボックス] の順に押します。



### 3 宛先を選択します。



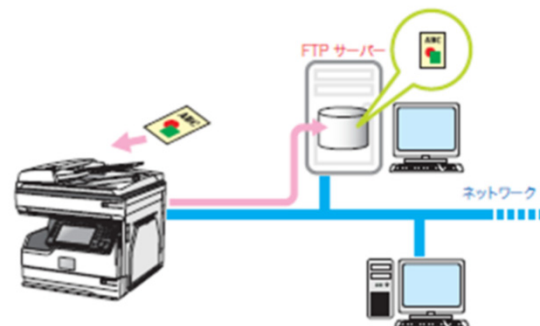
- ・ [ユーザー] タブと [グループ] タブを切り替えて、ユーザーとユーザーグループが選択できます。
- ・ 宛先が [お気に入り宛先] タブに登録されているときは、[お気に入り宛先] タブからも選択できます。
- ・ 選択した宛先を確認するには、[宛先確認] を押します。(→ 4-11 ページ)

### 4 (スタート) を押します。

- ・ 宛先が複数あるときや宛先確認が設定されているときは、宛先の確認画面が表示されます。(→ 4-11 ページ)
- ・ 原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。
- ・ MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[宛取終了] を押します。

## FTP サーバーに送信する (スキャン to FTP サーバー)

読み取った原稿を FTP サーバーに保存します。



#### 補足

オプションの Information server が必要です。

### □ FTP ショートカットを使って選択する

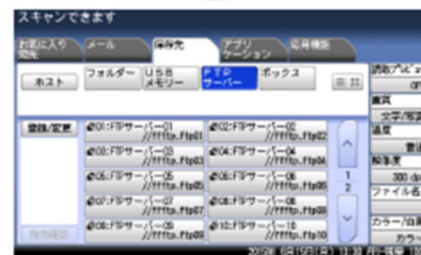
FTP ショートカットを使うと、FTP サーバーの保存先を直接指定できます。FTP ショートカットの登録については、「FTP サーバーショートカットを登録・変更する」(→ 8-20 ページ) を参照してください。

#### 1 原稿をセットし、(スキャナー) を押します。

- ・ 原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・ 必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

#### 2 [保存先] タブ、[FTP サーバー] の順に押します。

#### 3 FTP ショートカットを選択します。



- ・ FTP ショートカットが [お気に入り宛先] タブに登録されているときは、[お気に入り宛先] タブからも選択できます。
- ・ [登録/変更] を押すと、ショートカットの登録、変更または削除ができます。(→ 8-22 ページ)

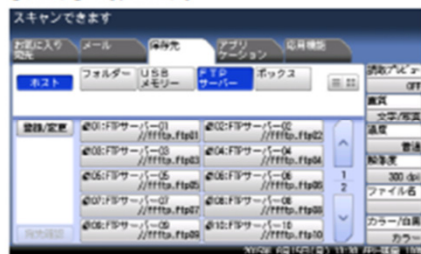


- 4 手順3の操作を繰り返して、すべての宛先を選択します。  
選択した宛先を確認するには、[宛先確認] を押します。(→ 4-11 ページ)

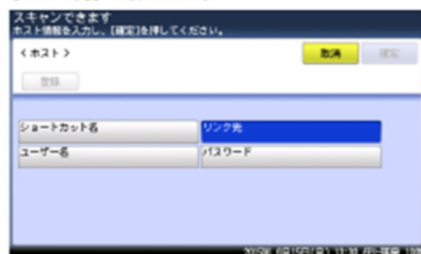
- 5 <スタート> を押します。  
・宛先が複数あるときや宛先確認が設定されているときは、宛先の確認画面が表示されます。(→ 4-11 ページ)  
・原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。  
・MFX-5180で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[読取終了] を押します。

## □ FTP サーバーを直接指定する

- 1 原稿をセットし、<スキャナー> を押します。  
・原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。  
・必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)
- 2 [保存先] タブ、[FTP サーバー] の順に押します。
- 3 [ホスト] を押します。



- 4 [リンク先] を押します。



- 5 FTP サーバーのリンク先を入力し、[確定] を押します。



- ・入力は「//」(スラッシュ2つ) から始めてください。  
・文字入力のしかたは、『機器設定・管理編』第1章の「文字を入力する」を参照してください。

- 6 FTP サーバーのアクセスにユーザー名が必要な場合は、[ユーザー名] を押します。

ユーザー名が不要な場合は、手順8に進みます。

- 7 ユーザー名を入力し、[確定] を押します。

- ・全角で32文字(半角で64文字)まで入力できます。  
・文字入力のしかたは、『機器設定・管理編』第1章の「文字を入力する」を参照してください。

- 8 FTP サーバーのアクセスにパスワードが必要な場合は、[パスワード] を押します。  
パスワードが不要な場合は、手順10に進みます

- 9 パスワードを入力し、[確定] を押します。

- ・半角で28文字まで入力できます。  
・文字入力のしかたは、『機器設定・管理編』第1章の「文字を入力する」を参照してください。

- 10 [確定] を押します。

[登録] を押すと、そのリンクをショートカットとして登録できます。あらかじめショートカット名を入力しておくと、その名前で登録できます。(→ 8-22 ページ)

- 11 手順3から10の操作を繰り返して、すべての宛先を選択します。

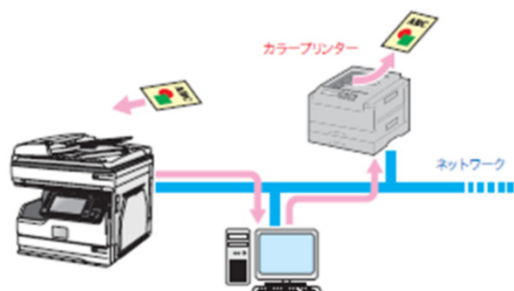
選択した宛先を確認するには、[宛先確認] を押します。(→ 4-11 ページ)

- 12 <スタート> を押します。

- ・宛先が複数あるときや宛先確認が設定されているときは、宛先の確認画面が表示されます。(→ 4-11 ページ)  
・原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。  
・MFX-5180で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[読取終了] を押します。

## スキャンした原稿をプリントする (スキャン to プリンター)

読み取った原稿をコンピューターを経由して別のプリンターに送信し、プリントできます。



### 補足

- オプションの Information server が必要です。
- あらかじめスキャン to プrintモニターで利用するプリンターやコンピューターを登録してください。(→ 8-46 ページ)

### 1 原稿をセットし、〈スキャナー〉を押します。

- 原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- 必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

### 2 [アプリケーション] タブ、[Scan to Print] の順に押します。



### 3 プリンターを選択します。



必要に応じて、解像度や読み取りサイズ、仕分け、応用機能の設定を行います。

### 4 〈スタート〉を押します。

- 原稿を自動原稿送り装置にセットしたときは、この手順で終了です。
- MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットしたときは、[次のページ] を押して次の原稿を読み取ります。すべての原稿を読み取ったあと、[読取終了] を押します。

### 補足

- スキャン形式 (カラー / 白黒) の設定はできません。カラーでスキャンします。
- 応用機能で使用できる機能は制限されます。

## Evernote に保存する (スキャン to Evernote)

読み取った原稿を直接 Evernote に保存します。Evernote にアクセスできる環境なら、スマートフォンや携帯電話など、さまざまな機器でスキャンしたデータを閲覧できます。

### 補足

- ・ オプションの Information server が必要です。
- ・ Evernote アカウントが必要です。お持ちでないときは、Evernote の Web サイトにてアカウントを登録してください。
- ・ この機能は、宛先表に登録された Evernote のメールアドレス、または LDAP サーバーを使用します。宛先表を使用するときは、あらかじめ Evernote のメールアドレスを宛先表に登録してください。(→ 8-2 ページ) LDAP サーバーを使用するときは、あらかじめ LDAP サーバーの登録が必要です。詳しくは、『機器設定・管理編』第 2 章の「ネットワーク設定をする」の「LDAP サーバーを登録する」を参照してください。

### 1 原稿をセットし、〈スキャナー〉を押します。

- ・ 原稿セットのしかたは『基本編』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・ 必要に応じて画質や濃度を設定します。(→ 2-4 ページ)

### 2 [アプリケーション] タブ、[EVERNOTE] の順に押します。



### 3 宛先を選択し、[確定] を押します。



LDAP サーバーから検索された宛先には、が表示されます。を押すと、宛先の詳細を表示します。(→ 6-10 ページ)

### 4 宛先を確認して、[確定] を押します。



- ・ 選択されている宛先を削除するときは、削除したい宛先を選択して [削除] を押します。
- ・ メールアドレスの宛先を「To」や「Cc」、「Bcc」に変更するときは、変更したい宛先にある [To に変更]、[Cc に変更]、[Bcc に変更] を押します。(始めはすべて [To] になっています。)

### 5 (スタート) を押します。

### 補足

- ・ メールの件名に「@」「#」を入力すると、整理するノートブックを指定したり、タグを付けたりできます。「@」「#」の前は半角スペースで区切ります。(例: Evernote @ Notebook1 #Tag1 #Tag2)
- ・ あらかじめ、Evernote 側でノートブックとタグを作成してください。
- ・ メールの件名は、「メール編集」にて入力できます。(→ 2-18 ページ)



